

SIP プロキシ サーバの「IpAddrInPathHeaders」の設定

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[IpAddrInPathHeaders 変数の使用方法](#)

[変数へのパーマネント変更](#)

[GUI の変数を見つけ、変えて下さい](#)

[Cisco SPS: プロセスのシーケンス](#)

[MySQL データベースをチェックする方法](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Session Initiation Protocol Proxy Server (Cisco SPS) 上で Via および Record-Route のパス ヘッダーで使用する IP アドレスを設定する方法について説明します。

注: この情報は Cisco SPS バージョン 2.1 および それ 以降のためにだけ検証されました。

前提条件

要件

このドキュメントの読者は次のトピックについて理解している必要があります。

- [Cisco SIP Proxy Server 管理者ガイド](#)
- [Cisco SPS の設定](#)の「プロキシ・サーバ DNS 動作」設定する方法をセクション
- [DNS セットアップ](#)

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco SPS バージョン 2.1
- Sun Solaris 8 オペレーティング システム

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

[背景説明](#)

Cisco SPS アプリケーションが開始するとき、全体の SPS アプリケーションを完了するいくつかの異なるプロセスは次々に開始します。アプリケーションを、sipd.conf と呼ばれるプライマリコンフィギュレーションファイルは開始した後作成されます。この作成は Cisco SPS の MySQL データベースから来る情報に基づいて起こります。このデータベースは Cisco SPS のインストール時に別々にインストールされています。Cisco SPS が再起動するとき MySQL データベースにないすべてのパラメータは失われます。

[IpAddrInPathHeaders 変数の使用方法](#)

ソース IP アドレスがおよびレコード ルート パス ヘッダー フィールドに Cisco ProxyAddressResolutionType 変数が IP に設定 されるとき、SPS、マルチホーム サーバで挿入する IpAddrInPathHeaders 変数の第一の目的は制御することです。設定されなくて、それから gethostbyname コマンドの発行から戻る最初の値は使用されます。

[変数へのパーマネント変更](#)

この変数を設定することは困難ではないですが正しい方法で提供される必要があります。これは変数が GUI を使用して入らなければ、MySQL データベースで保存されないことを意味します。sipd.conf ファイルを変更する各試みは手動で Cisco SPS が再起動するとき保存されません。

GUI で IpAddrInPathHeader 変数 フィールドを見つけることはそれを見つけると期待するかもしれない GUI の Cisco SIP Proxy Server コアに論理的に置かれられないので厄介かもしれません。

[GUI の変数を見つけ、変えて下さい](#)

IpAddrInPathHeader 変数 フィールドへの変更を見つけ、行なうためにこれらのステップを完了して下さい:

1. Cisco SPS を GUI を提供させ始めて下さい。
2. **ファーム/プロキシに > 進みま > 行きま耕作します。**
3. ファーム メンバーの下で『Show Additional Fields』を選択して下さい。
4. IpAddrInPathHeaders 変数 フィールドにソース IP アドレスを挿入して下さい。
5. 変更を保存するために『SUBMIT』をクリックして下さい。

[Cisco SPS: プロセスのシーケンス](#)

このセクションは Cisco SPS のプロセスが開始するおよび始動の後で動作する必須プロセスの

アプリケーション 構造を示します順序。

- これは Cisco SPS アプリケーションの始動の間に行われているプロセスのシーケンスです

```
./opt/sip/bin/sip start
# ./sip start Starting pserver... /opt/sip/bin/pserverctl start: pserver started Starting
license manager... /opt/sip/bin/lmctl start: licenseMgr started Starting spa...
/opt/sip/bin/spactl start: spa started /opt/sip/bin/spactl start: Waiting for sipd.conf from
spa.... /opt/sip/bin/spactl start: sipd.conf written Starting sipd... Version of CSPA :
2.1.1.1 - Official Release Version in Config file : 2.1.1.1 - Official Release Software
release version of CSPA validated successfully with your license License validated
successfully This is Permanent license, with Infrastructure functionality
```

- これらは Cisco SPS アプリケーションが開始した後実行されているプロセスです:

```
ps -ef | grep -i sip csps 13413 1 0 10:59:09 pts/3 0:00 /opt/sip/bin/Sip_Services -z -y
52931 csps 13460 1 0 10:59:20 pts/3 0:02 /opt/sip/bin/sipd csps 13433 1 0 10:59:12 ? 0:01
/opt/sip/bin/spa /opt/sip/conf/spa.conf csps 13467 13460 0 10:59:22 pts/3 0:00
/opt/sip/bin/sipd csps 13465 13460 0 10:59:22 pts/3 0:00 /opt/sip/bin/sipd csps 13415 1 0
10:59:10 ? 0:02 /opt/sip/bin/pserver -c /opt/sip/conf/ps.conf csps 13466 13460 0 10:59:22
pts/3 0:00 /opt/sip/bin/sipd csps 13468 13460 0 10:59:22 pts/3 0:00 /opt/sip/bin/sipd csps
13463 13460 0 10:59:22 pts/3 0:00 /opt/sip/bin/sipd csps 13464 13460 0 10:59:22 pts/3 0:00
/opt/sip/bin/sipd csps 13423 1 0 10:59:11 ? 0:00 /opt/sip/bin/licenseMgr
/opt/sip/conf/lm.conf
```

MySQL データベースをチェックする方法

MySQL データベースのコンテンツを IpAddrInPathHeaders 変数を設定するために検査するために、MySQL データベースに可変コンテンツをチェックするために接続するのにこのプロシージャを使用して下さい。

1. プロンプトで **./mysql** を **-p** ーロコマンド入力して下さい。#.mysql -p sip Enter password:
Reading table information for completion of table and column names You can turn off this feature to get a quicker startup with -A Welcome to the MySQL monitor. Commands end with ; or \g. Your MySQL connection id is 1164 to server version: 3.23.54-classic-log Type 'help;' or '\h' for help. Type '\c' to clear the buffer.
2. mysql> プロンプトで、**提示表を発行して下さい; コマンドを発行します。**mysql> show tables;
+-----+ | Tables_in_sip | +-----+ | CSPA | |
ControlCSPA | | DBAuthenticationTable | | DBSubscriberTable | | License | | PersistentTCP |
| TempLicense | | subscriber | +-----+ 8 rows in set (0.00 sec)
3. mysql> プロンプトで、**CSPA からの選定されたファームを発行して下さい; コマンドを発行します。**mysql> select Farm from CSPA; +-----+
+-----+ | Farm | | +-----+
+-----+ | <table><row><Host>10.48.80.149</Host><Port>5060</Port> <IpInPathHeaders />
<InRegFarm>On</InRegFarm><InRouteFarm>On</InRouteFarm></> | +-----+
+-----+ 1 row in set (0.00 sec)

関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)